

## 錦が丘地区の計画づくり

### ●地区の特性

錦が丘地区は、昭和初年の東急東横線の開通に伴い、田園調布などに続き田園都市として開発された住宅地です。宅地割が比較的大きいことから庭等の緑化スペースに恵まれ、緑の景観が保たれてきました。すりばち状の地形をなす地区の中央、一番低い位置にあるロータリーは菊名駅の設置を想定してつくられた名残で、現在の街路網の要になっています。



### ●地区の緑の魅力

1934年（昭和9年）、皇太子の誕生を祝い町内住民と東京横濱電鉄(株)からの寄付金（当時の金額で300円）により街路樹（サクラ335本、カエデ100本）を植えました。その後、戦時中の伐採、老化や建替えに伴う伐採などを通じて、街路樹は徐々に減少し、2012年（平成24年）4月1日現在、サクラとモミジを合わせて70本が保全されています。



○街路樹（サクラ）の現況（上）

### ●地区の緑の課題

地域の先人たちが植えたサクラとモミジの老齢化が進んでいます。可能な限り保全するための技術を備えること、必要に応じて更新することで後世に伝えていくことが最大の課題です。

また、ロータリーは地域のシンボルとしてさらに魅力的な場所とすることが期待されています。本地区は起伏に富んだ地形のため坂道が多く擁壁が目につきます。壁面緑化を進め景観に潤いを与え照り返しを和らげ歩行者に優しいまちとしていきます。

そして、建替えや宅地の細分化による緑の減少を食い止めるため、地域住民の意識啓発やルール作りが求められます。本計画では、これらに対し総合的な方策を検討しました。

### ●地区の諸元

地区面積	約 14.4ha
世帯数	約 1,200 世帯
用途地域	第1種低層住居専用地域 第一種住居専用地域 近隣商業地域

緑やまちづくりに関する既往の計画や活動等  
 錦が丘街路樹継承宣言の策定（2009年）  
 錦が丘・街づくりデザインプランづくり（2010年）  
 計画策定の母体となった地元の組織  
 錦が丘町内会（総会、役員会、錦が丘緑豊かな街並みを創る会）

### ●計画策定のプロセス

歩行者の安全や景観、環境、生態系など多様な価値を備える街路樹の保全と継承をうたう「錦が丘街路樹継承宣言」（2009年）及び、歩車共有道路の計画を具体的に描いた「錦が丘・街づくりデザインプラン（案）」（2010年）の2つを踏まえながら検討を進めました。また、現地調査を重ね実態に即した計画とすることを心がけました。

#### ○多様な話し合いの場と手法を導入

- 市との協議が始まる（2008年9月）  
倒壊危険樹木の保全を巡り、港北土木事務所との協議がスタート
- 「錦が丘・環境を守る会（仮称）」発足（2008年11月）  
「錦が丘・豊かな街並みを創る会」に名称変更（2009年3月）

#### ○まち歩きで現状を点検



#### ○ロータリーで緑化等のプランづくり



- 「錦が丘の街路樹継承宣言」（2009年5月9日錦が丘町内会承認）
- 「錦が丘・街づくりデザインプラン（案）」（2010年5月8日錦が丘町内会承認）

- 地域緑のまちづくり計画  
街路樹を含むまち全体の緑化計画の検討がスタート  
2010年11月～2012年3月まで、16回の検討会を開催  
内容はデザインプランの共有 / まち歩き / アンケート / 街路樹計画 / ロータリー改修計画 / 民有地緑化計画 / 協定書作成について検討

- 「錦が丘地区地域緑のまちづくりの会」設立（2010年4月）
- 地域緑のまちづくり協定締結（2012年4月）

樹勢回復セミナー  
2011年2月

- 懇談会（2011年6～7月）  
6月4日 ①これまでの経過の共有  
6月11日 ②課題について意見交換  
6月25日 ③ロータリー社会実験  
7月16日 ④民有地の緑化を考える  
7月30日 ⑤計画案のとりまとめ

街路樹と樹木について学ぶセミナー  
2011年 9月  
11月  
12月



○懇談会の様子

# 錦が丘地区の地域緑化計画

## ●基本理念 ～緑でつながるコミュニティ～

- 緑の歴史的景観の継承
- 歩行者の安全性と快適性の向上
- 街路樹、ロータリー、民有地の緑の充実

## ●全体計画の方針

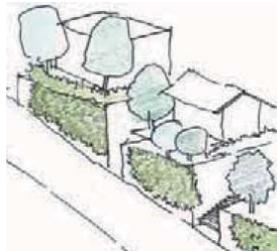
幅員が広く交通量も多い、地域の骨格となる道路「グリーン軸」に力点を置きながら、町内全域の生活空間における緑化を進める全体計画としました。

- ①町内全域を対象とした、民有地内の擁壁・ブロック塀・フェンス等の緑化、及び生垣緑化を進めます。
- ②「グリーン軸」を対象とし、街路樹等の整備を通して安全で快適な歩車共存道路の実現を目指します。
- ③「グリーン軸」を対象とし、総合的な緑化を進め、連続した美しい街並みを目指します。
- ④まちのシンボルとしてのロータリーを対象に、安全性・快適性の向上を図ります。

また、この全体計画をテーマ別にわけると次の4つのテーマになります。

### 【テーマ1】コンクリートを緑で優しく包んだ家並み

民有地の擁壁・ブロック塀・フェンスの緑化、及び生垣緑化



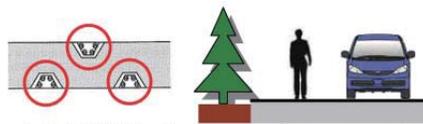
地域緑化計画

## 地域緑化全体計画図



### 【テーマ2】安全で快適な並木道

グリーン軸の安全で快適な歩車共存道路の実現



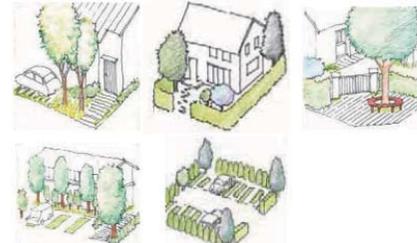
- 車止めや街路樹などの千鳥配置により、自動車の速度抑制効果が期待できます。
- 一方通行、または交通量が極めて少ない場合の断面構成

## 緑のまちづくり推進団体 錦が丘地区地域緑のまちづくりの会



### 【テーマ3】宅地の緑が連続する美しい街並み

グリーン軸沿いの民有地の総合的な緑化



### 【テーマ4】安全で快適なロータリー

シンボルとなるロータリーを緑化し、安全化・快適化

## ●維持管理の計画

緑でつながるコミュニティづくり

- ・街路樹など公共の緑と民有地の緑化を維持管理する体制を作ります
- ・花と緑に関する情報の共有化を図ります
- ・サクラと緑のイベントを開催します
- ・緑化の活動を広げ、事業の記録を残します

地域緑化計画(平成24年12月)